

授業科目名 (英文名)	発達心理学 (Developmental Psychology)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1
担当教員	金 外淑	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>発達心理学は、受児から死に至るまでの生涯にわたる心身の発達過程での変化、および、社会的、個人の生活経験の要因を含めた人間のライフサイクルにおける発達段階を明らかにする学問である。本講義は、このような視点から、人間の生涯にわたるライフサイクルの発達の特徴と心身の課題について理解を高めるとともに、実際に教育・臨床現場で発達段階に応じた援助に役立つスキルを身につけることを目標とする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 講義では、発達心理学の基礎知識について解説するとともに、人間の生涯にわたるライフサイクルによる心と体の発達と心身の課題、発達段階に応じた援助について講述する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．ガイダンス (本講義の目標や概要の説明) 2．発達の諸理論 3．発達における環境の役割 4．乳幼児期の発達の成長 5．乳幼児期の発達の成長 6．子どもの発達障害 (発達援助の臨床) 7．子どもの発達障害 (発達援助の臨床) 8．児童・青年期の発達の特徴と課題 9．児童・青年期の発達特徴と課題 10．青年期の発達障害 (発達援助の臨床) 11．中年期の発達の特徴と課題 12．中年期の発達援助と臨床 (発達援助の臨床) 13．老年期の発達の特徴と課題 14．老年期の発達援助と臨床 (発達援助の臨床) 15．まとめ 16．評価 (到達度の確認) 		
テキスト	授業中に講義資料を配布する。必要に応じ、ビデオ教材を用いる。		
参考文献	授業中に講義内容に関連する参考文献を紹介する。		
成績評価の基準・方法	テスト (50%)、課題レポート (20%)、授業への取り組みおよび、出席状況を含めて総合的に評価する。出席率が著しく悪い学生は不可とする。		
履修上の注意・履修要件	座席は指定席にする場合もある。		
実践的教育	心療内科臨床経験のある教員が実務経験に基づいた講義を行なう。		
備考			